

**製品名: EphA2/5 (リン酸化 Tyr594) ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab04612**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB, ELISA
反応性	ヒト、マウス
標識	非共役
修飾	リン酸化
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000, ELISA 1:5000-1:20000
分子量	110kDa

**抗原情報**

遺伝子名	EPHA2/EPHA5 EPHA2; ECK; Ephrin type-A receptor 2; Epithelial cell kinase; Tyrosine-protein kinase receptor
別名	ECK; EPHA5; BSK; EHK1; HEK7; TYRO4; Ephrin type-A receptor 5; Brain-specific kinase; EPH homology kinase 1; EHK-1; EPH-like kinase 7; EK7; hEK7
遺伝子 ID	1969/2044
SwissProt ID	P29317/P54756
免疫原	ヒト EphA2/5 のリン酸化部位（リン酸化 Tyr594）周辺の合成リン酸化ペプチド

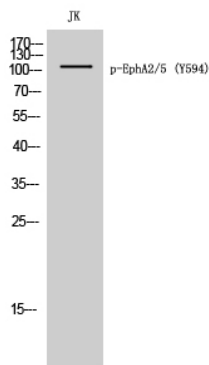
**背景**

この遺伝子は、タンパク質チロシンキナーゼファミリーのエフリン受容体サブファミリーに属します。EPH および EPH 関連受容体は、特に神経系において、発達過程の媒介に関与していることが示唆されています。EPH サブファミリーの受容体は、典型的には単一のキナーゼドメインと、システインリッチドメインおよび2つのフィブロネクチンタイプ III リピートを含む細胞外領域を有します。エフリン受容体は、細胞外ドメイン配列の類似性と、エフリン A およびエフリン B リガンドへの結合親和性に基づいて、2つのグループに分類されます。この遺伝子は、エフリン A リガンドに結合するタンパク質をコードします。この遺伝子の変異は、遺伝的に関連する特定の白内障疾患の原因となります。[RefSeq 提供、2010年5月],触媒活性:ATP + a [タンパク質]-L-チロシン = ADP + a [タンパク質]-L-チロシンリン酸。機能:エフリン A ファミリーのメンバーの受容体。エフリン A1、-A3、-A4、および-A5 に結合します。類似性:タンパク質キナーゼスーパーファミリーに属します。Tyr タンパク質キナーゼファミリー。エフリン受容体サブファミリー。類似性:1つのタンパク質キナーゼドメインを含みます。類似性:1つの SAM (無菌アルファモチーフ) ドメインを含みます。類似性:2つのフィブロネクチン III 型ドメインを含みます。サブユニット:SLA と相互作用します (類似性による)。INPPL1/SHIP2 と相互作用します。組織特異性:皮膚、腸、肺、卵巣など、上皮細胞の割合が高い組織で最も高く発現します。、

## 研究分野

軸索ガイダンス;

## 画像データ



リン酸化 EphA2/5 (Y594) ポリクローナル抗体を用いた JK 細胞のウェスタンブロット解析